

Hello, Amy

ハロー、エイミー

「悟りは、それを求める人々を見つけます」(日本語版)

Amy Chavez エイミー・チャベツ

<http://dailymo000.blogspot.com>

先週、私が(笠岡市)本土からフェリーに乗って家へ帰っていると、通路を横切りながら「エイミー」とささやく声が聞こえました。私が見上げると正装に身を包んだお寺の住職さんでした。

「今日は白石島に来られるのですか。」と私は彼に尋ねました。

「はい、今日はレイゴ祭りがありますから。」私は近々そのレイゴ祭りがあるのを知っていましたが、こんなにすぐではないはず。私が彼にどこであるのか尋ねてみると、「鳥」であると言われました。

私はこの「鳥」という名前を白石島にある場所「鳥ノ口」の名前を短縮して呼んだものと解釈しました。

「鳥ノ口で？」と私は言いました。

「違う、違う、お寺の鳥だよ。」と。

私の頭は石のイメージと、お寺の近くにいる鳥につながる物が何かないかと考えを巡らせました。そしてついに彼らが何を言っていたか分かってきました。鳥ではなく「鳥居」だったのです。

私はコジン神社の鳥居を通り抜け、俗世間から神聖な領域—黒い正装に身を固めた男性の世界

—へと入って行きました。白髪まじりの髪を後頭部で一つにまとめた男性—それはまるでマンガにでてくる侍のよう(長くて黒い髪のを後頭部で一つにまとめた)—と同じような身なりをした他20人の男性がいました。私はその中でただ1人の女性で、神社の階段の一番下に立ち、彼らがつくように火をつけ、経を唱え、お清めのお酒を飲むのを遠くから見ていました。それが終わると、彼らはお祈りのためにエイゴジン神社へ行くでしょう。住職さんが階段を下りて来ました。

「心配しないで、私たちと一緒に来なさい。これを持って。」と彼は言い、経文を私に差し出しました。「これについてこられるでしょう。」エイゴジン神社では、私は黒いスーツを来た男性と一緒に立っていました。住職さんが「御幣」紙と緑の葉のついた枝を私たちの下げた頭の上で振った時、それはまるで大木の下にいる私たちに吹く嵐の前の風のような音でした。神によって清められ、私たちは大きな岩の下にある神社の正面に立ち、経を唱えました。鳥たちが私たちに参加するのに時間はそう長くかからず、虫たちが私たちの経に合わせ飛び回っていました。秋の太陽の陽差しの中で、自然の力に囲まれ、悟りは、それを求める人々を見つけます。

追伸：今月号の「プラネットジャパン」と「動物の物語」みてもらえましたか。

http://www.podcastalley.com/podcast_details.php?pod_id=13711and

指定ごみ袋

配付枚数が変わります！

笠岡市では平成14年度に、ごみの減量化と資源化の推進を目的として、燃えるごみと燃えないごみの収集に、指定ごみ袋を導入しました。

それから4年を迎えようとしています。この間には、市民の皆さんから貴重なご意見をいただいて、指定ごみ袋の規格や配付枚数などについて、制度の見直しを行いました。

その結果、さらなる減量化と資源化を促進するために、笠岡市では平成18年度から、45ℓの指定ごみ袋を廃止し、配付する基準となる世帯区分と配付枚数を表のとおり変更します。

※新年度分の指定ごみ袋は、2〜3月で各家庭に配付します。

※紙おむつを使用される人がいる世帯には、1人の場合は40枚、2人以上の場合は60枚が加算されます。

平成17年度まで			平成18年度から		
世帯区分	可燃	不燃	世帯区分	可燃	不燃
1〜3人	100枚(30ℓ)	10枚	1・2人	80枚(30ℓ)	10枚
4〜6人	100枚(45ℓ)	10枚	3・4人	90枚(30ℓ)	10枚
7人以上	120枚(45ℓ)	10枚	5・6人	110枚(30ℓ)	10枚
			7人以上	130枚(30ℓ)	10枚

※現在お手元にある45ℓの指定ごみ袋は、引き続き使用することができます。

今後、ごみの減量化の推進に、市民の皆さまのご協力をお願いします。

問合せは
環境課 ☎0854-82-3005まで